

園部市長、大阪府知事の 言葉を拝借し所信表明！

園部市長誕生後、初の議会が20日開会され、園部市長が「所信表明」を行い今後の市政運営の方向性を示しました。「私は『地域主権』・『生活者の視点』・『民間との協働』を政策の軸として…」と切り出しましたが、その内容は昨年3月の大阪府議会で太田房江知事が行った「府政運営方針説明」を抜書きした箇所が随所に、「基本目標」も酷似した内容となっています。

園部市長は政策の軸など、自分自身の言葉で語ることなく、門真市民を何処へ導こうとしているのでしょうか。

園部市長の所信表明演説	太田知事の2004年3月議会での府政運営方針説明
(略)	(略)
<p>私は、「地域主権」・「生活者の視点」・「民間との協働」を政策の軸として、時代の変化に対応した市政への転換を進めてまいりたいと考えております。「市民の皆様と行政と一緒に考え、一緒に進めていく」という気持ちで目標を共有し、共同作業を積み重ねる。その様な市政運営に努めてまいりたいと考えております。これからの一期4年間は、この国の「地方自治の新たなかたち」を築き上げていく大変、重要な時期だと受け止めております。</p>	<p>私は、「地域主権」、「生活者の視点」、「民間との協働」を政策の軸として、時代の変化に対応した府政への転換を進めてまいりました。幸い、これらがようやく府政の隅々に浸透しつつあります。さらに、これを徹底し、「府民の皆さんと行政が、一緒に考え、一緒に進めていく」という気持ちで、大阪全体で目標を共有し、共同作業を積み重ねる、そのような府政運営に努めてまいりたいと思います。私の2期目の4年間は、この国の「地方自治の新たなかたち」を築き上げていく大変重要な時期だと受け止めております。</p>
<p>日本の歴史においては、平安京から鎌倉幕府までの400年、その後、徳川幕府が開かれるまでの400年、更にその後の今日までほぼ400年の周期で、文明的に大きな変化が起こり、これが日本の首都機能移転の周期ともピッタリ重なっているとの説があります。文明の変化に合わせて私たち人間は、社会のありようや、国を治める体制を改革してまいりましたが、この説に従えば、400年前に江戸、つまり東京を首都とし、近代化を経て築き上げてきた中央集権一極集中型体制は、ひとつの文明として終焉を迎え、いよいよ新展開が図られるべき時期に来ているという事になります。</p>	<p>日本の歴史においては、平安京から鎌倉幕府までの400年、その後徳川幕府が開かれるまでの400年、さらに、その後の今日まで、ほぼ400年の周期で文明的に大きな変化が起こり、これが日本の首都機能移転の周期ともぴったり重なっているとの説がございます。文明の変化に合わせて、私たち人間は、社会のありようや統治の体制を改革してまいりましたが、この説に従えば、400年前に江戸、つまりは東京を首都とし、近代化を経て築き上げてきた中央集権型・東京一極集中の体制は、一つの文明として終焉を迎え、いよいよ新展開が図られるべき時期に来ているということになります。</p>
(略)	(略)
<p>折しも「三位一体改革」の議論が進んでおり、「地域主権」がようやく輪郭を現してまいりましたが、まだまだわずかに扉が開いた程度であります。今こそ私たち自治体の力量が問われているわけですが、真の地域主権を実現していくためには、国と自治体との間の権限・財源の問題だけに矮小化するのではなく、地域づくりの主役である住民と行政の新しい関係づくりを含めた、まさに「改革」にしていかなければなりません。次の時代への転換の舵を切るためには、成熟した生活者の力こそが、大切だと考えるからです。</p>	<p>折しも、三位一体改革の議論が進んでおり、地域主権がようやく輪郭を現してまいりましたが、まだまだわずかに扉が開いた程度です。今こそ、私たち自治体の力量が問われているわけですが、真の地域主権を実現していくためには、国と自治体との間の権限・財源の問題だけに矮小化するのではなく、地域づくりの主役である住民と行政の新しい関係づくりを含めた、まさに「改革」にしていかなければなりません。次の時代への転換の舵を切るためには、成熟した生活者の力が大切だと考えるからです。</p>
<p>役所の論理でなく、社会を変えようとする地域の生活者による地域の活力アップの動きが、力強く育とうとしております。こうした一人ひとりの多様な力を束ね、更に一つの大きな力に育て上げ、時代の歯車を動かすことが、地方自治体の役目です。そして、私自身がその先頭に立ち、地域のニーズを府、国につないでいくことで、地域主導のボトムアップ型政策形成を実現していきたいと考えております。</p>	<p>「市民として普通の感覚を大切に活動していきたい」とおっしゃるのは、コミュニティ・ビジネスで地域の課題解決に取り組む女性です。現に今、大阪の其処かしこで、社会を変えようとする地域の生活者による動きが力強く育とうとしております。こうした一人ひとりの多様な力を束ね、さらに一つの大きな力に育て上げ、時代の歯車を動かすことが自治体の役目です。そして、私自身がその先頭に立ち、地域のニーズを国につないでいくことで、地域主導のボトムアップ型政策形成を実現していきたいと思います。</p>
(略)	(略)
<p>まず第一の目標は「たくましく希望あふれる門真」を築くことであります。本市がたくましさを取り戻していくためには、経済の再生がまず第一であります。</p>	<p>第一は「タフでたくましい大阪」です。大阪には、産業・人口・知的財産の集積、関西圏の大市場があり、関西国際空港をはじめ、国際都市として機能するための都市基盤も備えています。</p>
(略)	(略)
<p>第二の目標は、「市民が生き甲斐の持てる優しさのまち「門真」」を築くことであります。私は、21世紀を優しさの時代と考えております。大阪は、歴史的に自主自立の気風があります。</p>	<p>第二は「府民一人ひとりが生きがいをもって暮らせる大阪」です。大阪には、大都市でありながら、一人ひとりの人や地域とのつながりを大切にしている精神が今もしっかりと根付いています。</p>